



あらかわに 俳句文化の 花ひろく

▶ 子どもから大人まで、俳句文化のすそ野を広げます



荒川区長・特別区長会会長
にしかわ たいいちろう
西川 太一郎

俳句は、国内外に多くの愛好者があり、世界に誇る日本文化の一つです。

荒川区は、松尾芭蕉や小林一茶、正岡子規、種田山頭火など、多くの俳人とのゆかりがあり、平成27年3月の「俳句のまち宣言」以来、区民の皆様が気軽に参加できる投句事業や吟行会など、多くの事業を開催して参りました。

平成28年は、元東京大学総長で文部大臣もお務めになった、国際俳句交流協会会長・有馬朗人先生にご助言いただき、英語俳句手帳を作成し、中学生向けの英語俳句教室を開催するなど、新たな取り組みを開始しました。

また、3月26日に開館した荒川区の新たなランドマークである「ゆいの森あらかわ」では、現代俳句協会のご協力を得て約1万5千冊の国内外の俳句資料を所蔵する「現代俳句センター」を開設したほか、講演会や句会など多数の催しを開催しています。

4月24日には、俳句のユネスコ無形文化遺産登録推進協議会の設立総会が荒川区で開催され、私も自治体代表として副会長に就任しました。

今後も「俳句のまち あらかわ」として、子どもから大人まで俳句文化のすそ野を広げ、豊かな心を未来に伝えていくため、さらなる俳句文化の振興を進めて参りますので、引き続き、ご理解・ご協力をお願いします。